

令和2年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市地方卸売市場大畑町魚市場	
指定管理者	団体名	大畑町漁業協同組合
	代表者	代表理事組合長 田高 利美
	所在地	むつ市大畑町湊村191番地
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	(1) 魚市場の開場に関すること。 (2) 魚市場の施設の提供に関すること。 (3) 魚市場の維持、管理及び修繕に関すること。 (4) 魚市場の特性を活かした利用促進に関すること。 (5) その他魚市場の設置目的を達成するために必要なこと。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計(A)	10,015	8,961	▲1,054
うち利用料金額	10,015	8,961	▲1,054
うち指定管理料			
支出合計(B)	9,416	8,368	▲1,048
うち人件費	20	20	0
収支差(A-B)	599	593	▲6
市への納入金			
計画額と比較した実績額の増減理由	スルメイカの不漁とコロナの影響でイベント等開催できなかったため。		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
		25,278	9,717	▲15,561
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・無） 直接届く利用者からの要望等を職員間で共有し、対応している。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
鮮魚BOX	56	689	471

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	A
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

きれいな状態で使用できるよう、研修室の使用があった際は、土・日曜日でも掃除を行った。また、利用者の要望に応じて必要な物品の購入や作成をし、満足していただけた。

その他は、計画どおり行った。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

取扱高減少に伴い、利用料金収入が減少しているが、光熱水費等の経費節減に努め、安定的に運営を行っていただいた。また、直接寄せられた利用者の要望に対応し、利用環境を整えたことで、施設の利便性が向上した点が評価できる。

指導していた衛生品質管理についても、取組により改善が見受けられる。

自主事業においては、コロナウイルス感染症の影響により鮮魚直販会は開催できなかったが、鮮魚BOX販売は昨年度より発送件数が増えており、今後も更なる販路拡大に期待する。